

平成29年 1月12日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉野 公一郎  
(コード番号：4572)  
問合せ先 経営管理本部長 吉野 公一郎  
(TEL： 078-302-7075)

### CDC7キナーゼ阻害薬に係るメキシコ特許登録のお知らせ

当社が研究開発を行い、平成28年5月27日にプロナイ・セラピューティクス社（社名変更し現在はシエラ・オンコロジー社）に導出したCDC7キナーゼ阻害薬の特許出願（発明の名称；NOVEL FURANONE DERIVATIVES、出願番号：MX/a/2013/010962）が、メキシコ特許庁において特許登録されましたのでお知らせいたします。

引き続き当社は、知的財産戦略上において重要な特許取得に積極的に取り組んでまいります。

以 上

（注）CDC7キナーゼは、細胞が分裂するときに重要なDNA複製などの染色体サイクルにおいて、多くの機能制御に深く関与していると考えられています。がん細胞は正常細胞に比べ、細胞分裂が盛んであることを利用して、これまでもDNAの複製を阻害する薬剤が抗ガン剤として用いられてきておりますが、正常細胞も影響を受けるために強い副作用がありました。しかし、CDC7キナーゼの阻害は、これら従来の薬剤とは異なり、がん細胞のみを細胞死に導くことが報告されています。また、膵臓がんや悪性度の高い乳がん（例えばトリプルネガティブ乳癌\*）に対してCDC7キナーゼが有望な標的分子であることが報告されており、CDC7キナーゼ阻害薬は、これまで治療困難とされてきたこれらのがんに対する治療に大きな貢献を果たすことが期待されています。

当社は、このような副作用の少ない画期的な抗がん剤の開発を目的として、CDC7キナーゼ阻害薬を研究開発した結果、平成28年5月にProNAi社（現社名：Sierra Oncology, Inc.）に導出し、現在は同社において臨床試験開始に向けた開発研究が行われております。

\*トリプルネガティブ乳癌は、エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体、HER2がすべて陰性で、治療が難しく予後が悪いがんとされています。